

第三十二回句会 俳句

【高点句】

- ☆老いてなほ長女で生きる日々草 〈眞澄〉
☆妻と歩を合わせし山の風薫る 〈茂〉
☆雨後の空虫捕り網のはしやぎ行く 〈眞澄〉

【各自一句】

- ・パンジーをなぞる秒針花時計 〈一馬〉
・露の雨特急しおかせ通過待ち 〈明美〉
・「横浜文学館」
子規展を出て薫風の街眩し 〈眞澄〉
・泣けぬとて笑む人の居て花は葉に 〈千恵〉
・吊り橋の薫風に歩を休めたり 〈茂〉
・薫風や恩師を悼むチャペルかな 〈青蛙〉
・残雪に顔のぞかせて水芭蕉 〈童心〉
・ここだけの話筒抜け草むしり 〈静〉
・薫風にウンベラータが葉を広げ 〈撫子〉
・芝散らし怒涛の馬群風青し 〈莫院〉
・老親を叱り叱られ鯉のぼり 〈安津子〉

*以上、33句(3句ずつ11名)より、選句は12名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句(今回は、第2位が同点で2句)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載)